



安茂里をもっと知りたい 裾中のSUSOBANADAY



裾花中学校では生徒たちに地元・安茂里の良さをもっと知って欲しいと、地域の人たちとふれあいながら学ぶ「裾中一日総合学習—SUSOBANADAY」なる勉強会を7月19日に行いました。この日は1年生が自然学習と題し、安茂里地区の歴史を訪ねたり裾花川の植生や旭山観音を訪ねるなど20近い班に分かれて様々な校外学習を行いました。また2年生は夏休みに予定している企業訪問に向けて、下調べや打ち合わせの為に安茂里地区にある各企業を訪ねました。そして3年生は地域の人たちと一緒にスマイルボウリングなどのスポーツを楽しみながら交流を深めるスポカフェの他、保育園や公民館などを訪ねて地元の子供や大人と同じ時間を過ごしました。また支援学級の生徒たち5人は付き添いの先生3人と、安茂里総合市民センターで窓ふきのボランティアを行い、職員の皆さんに大変感謝されていました。全校生徒589名が、それぞれ違う形ではありますが地元安茂

里のことを地域の人たちとの交流を深めながら勉強しました。果たして新しい安茂里を生徒たちは見つけてくれたでしょうか。

**裾花中学校の生徒を迎えて
長野中央支部安茂里教室
栗林久恵**

私たち「スポーツウェルネス吹矢」は毎週安茂里公民館をお借りして練習をしています。コロナの影響もあり、体験会や友達を誘うこともできずに練習を続けてきました。

公民館の館長さんから「裾花中学校の生徒に吹矢の体験をさせて欲しい」との話があり、大歓迎でお受けしました。事前に中学校へ伺い、用具の説明をしてビデオを見てもらい予習をお願いしました。私たちも普段の練習とは違い、どう吹矢の魅力を伝えたら良いのか考え検討しました。スポーツウェルネス吹矢は誰でも、誰でも年齢に関係なく楽しめること、吹矢式呼吸法によって健康作りが出来ること、そのうえ仲間作りもできます。生徒さんたちも1回目は恐る恐る吹いていましたが回数を重ねていくと堂々とした吹きっぷりになり、得点を数えるのも楽しんでもらえた様に見えました。

今回この様な機会を頂き「スポーツウェルネス吹矢」をお伝えできましてありがとうございます。

今年も記録的な猛暑が続いた夏、涼を求め海や山に出掛けたい人も多いでしょう。山といえば、犀川神社の裏山で遊ぶ子供たちの歓声が聞かれなくなっているのが経つでしょう。以前は毎年のように聞こえていたのに：一昔前、夏休みの子供たちの他に、カブトムシ、クワガタ、トンボ、セミなどを追って野山を走り回ったり、海や川へ魚釣りに行く楽しみもありました。そして男の子たちにとって山は、昆虫を探し求めるだけでなく、自分たちの秘密基地を友達と作ったり、そこに自分達だけの宝物を隠したりする絶好の遊び場になっていたのです。夏休みが近くなると、トンボが飛ぶ姿を見たり、セミが鳴く声を聞いては早く夏休みが来ないかと心待ちにしていたものです。このように殆どが外遊びだった当時の子供たち、休み明けの悪ガキどもは見事なくらい真っ黒に日焼けし、笑うとやけに歯が白く輝いていたのを覚えています。そんな夏休みの小さな探検や冒険が子供たちを知らず知らずのうちに成長させてくれた部分もあると今更ながら実感します。

もう一度、犀川神社や安茂里の山に子供たちの歓声が帰ってくる日はないのかなあ：



発行所
長野市立安茂里公民館
電話 226-4059
発行人 新見 宏司
発行月 5.7.9.11.1.3月
(株) 信光社

安茂里地区 世帯数と人口 (7月1日現在)

世帯数	9,150戸
総人口	19,985人
男	9,588人
女	10,397人

杏仁

今年も記録的な猛暑が続いた夏、涼を求め海や山に出掛けたい人も多いでしょう。山といえば、犀川神社の裏山で遊ぶ子供たちの歓声が聞かれなくなっているのが経つでしょう。以前は毎年のように聞こえていたのに：一昔前、夏休みの子供たちの他に、カブトムシ、クワガタ、トンボ、セミなどを追って野山を走り回ったり、海や川へ魚釣りに行く楽しみもありました。そして男の子たちにとって山は、昆虫を探し求めるだけでなく、自分たちの秘密基地を友達と作ったり、そこに自分達だけの宝物を隠したりする絶好の遊び場になっていたのです。夏休みが近くなると、トンボが飛ぶ姿を見たり、セミが鳴く声を聞いては早く夏休みが来ないかと心待ちにしていたものです。このように殆どが外遊びだった当時の子供たち、休み明けの悪ガキどもは見事なくらい真っ黒に日焼けし、笑うとやけに歯が白く輝いていたのを覚えています。そんな夏休みの小さな探検や冒険が子供たちを知らず知らずのうちに成長させてくれた部分もあると今更ながら実感します。

公民館講座

企業を訪ねて
そばと歴史を巡る戸隠散歩
に参加して



青木 俊一

今回の公民館課外講座は「そばと歴史を巡る戸隠散歩」であった。連日猛暑のニュースが続いた中であつたが、当日は雨上がりで清々しい気候となつた。最初の場所は株式会社おびな様で、その二階で我々は周りに見える山々を愛でながら三人一組となり、そばを打った。薄く均一に伸ばし、生地を細く均等に切っていくには熟練を要し、我々の麺は不揃いであつたが、出来上がった蕎麦の味は格別であつた。次に戸隠神社中社を訪れた。境内に招かれ全員でお祓いを受け、戸隠神社の成り立ちと歴史について詳しく説明を受けた。最後は旧柵小学校校舎を使った地質化石博物館であつた。元々は海の底であつた戸隠の地で出土した

化石等展示してあつた。日本列島誕生の過程、生物の進化の過程などについて、博物館館長のユーモア混じりの説明に聞き入った。朝のテレビ小説のモデルの牧野博士が戸隠で発見した植物等についての説明も興味が湧いた。今回の有意義な講座を企画して頂いた安茂里公民館の皆様に感謝して帰路についた。



久保 幸子

最初に訪問した戸隠の株式会社おびな様では「そばの手打ち」を体験しました。慣れない手つきでこねていると、何とも言えないそばの良い風味が香りました。伸ばしているときも破れてしまったり、切るときも太かったり細かったりとなかなか難しかったのですが、茹で上がったそばは本場に美味しかったです。工場見学をすると、石臼が48基もあり白いきめ細かなそば粉が出来上がっていました。つづいて訪ねた戸隠神社中社では戸隠神社の成り立ちや歴史、ご

夏休み講座開催

祭神などに就いて学びました。最後に旧柵小学校の校舎を利用した長野地質化石博物館を訪問。その昔、長野が海だったことが分かる貝やクジラ、大型動物のゾウなどの化石もあり地球や大地の歴史・スケールの大きさなどを知ることができました。そしてタイミングよくNHKテレビ小説「らんまん」のモデル牧野富太郎に関する特別展も開かれていて、博物館の田辺先生の面白い説明とあいまって有意義な一日となりました。

今年も、小学生を対象として夏休み講座が開催されました。1日目のスイーツデコは、4回目。2日目のバルーンアートは初の開催となりました。

バルーンアート

「パン！」という風船の割れる音が響きました。暑さ、静電気、ふくらみすぎ……。いろいろな要因はありますが、講師の井川ちなみ先生曰く「風船は割れるもの」。はじめは、おそろおそろ空気を入れたり、縛ったりしていましたが、風船の扱いに慣れてきて、かわいいお魚とクマさんができました。



スイーツデコ



バルーンアート

一緒に守りませんか！ 郷土の伝統文化

各地に伝わる伝統芸能を大切に守り、後世に伝える活動に取り組み長野市内12の団体が一堂に集まって「長野市甚句・音頭交流会」が6月18日安茂里公民館で開かれました。この日は250名余りが参加し、地域が生んだ郷土民謡や舞踊を舞台で発表しながら交流を深めていました。そして伝統文化を守ることは、地域の活性化や街づくりは勿論、世代間の交流にも役立つ大切なものであると改めて確認していました。そして最後に、

今回の第20回交流会を三輪地区で開くことを確認し幕を閉じました。

ところで江戸中期から明治にかけてアンズもぎや、田の草取りなどの時に盛んに唄われていたという安茂里甚句。保存会では地元で唄い継がれてきたこの歴史ある伝統芸能を守り、次代の子供たちへ引き継ぐべく努力をしています。その結果、学校や育成会の協力もあり各学校での運動会や盆踊りなどの機会に子供たちにも踊って頂けるようになりました。伝統ある安茂里甚句が末永く愛されことを願って、保存会では毎月練習と交流を重ねていますが、私たちと一緒に安茂里に伝わる甚句を守り、楽しんで踊りたいという方は非ご連絡ください。郷土の伝統文化を共に守りましょう！
安茂里公民館
226-4059



新たな歴史の証人に！ —終戦間近、安茂里に 展開した部隊の目的は—

少しばかり軍の歴史を学んできた私ですが、これまでは「海軍は陸軍と真逆で、開戦には反対し末期にはできるだけ早く戦争を終わらせようとしていた」と認識していました。

しかし、旧安茂里村小市の塚田伍八郎村長の残した日記に出会ってからはそれが一変したのです。日記には概ね三つの、それまで学んだことがない驚くべきことが書かれていました。一つは公文書にはない第300設営隊の海軍壕を掘った7、8月の動き、二つ目は林部隊という陸軍の工兵隊が犀川神社付近他3か所に穴を掘っていたこと、そして三つ目は塚田元市長宅を本部としていた海軍の蘭田部隊が分教場などにいたことです。その記述が確かなものか、地元の長老たちと結成した「昭和の安茂里を語り継ぐ会」を中心に調査・聞き取りを続け3年半あまり、次のようなことが分かりつつあります。三つの陸海軍の部隊の動きには深い関連があるようです。

第300設営隊とは、200以上あった海軍設営隊の中で第3010設営隊と並ぶ「虎の子」部隊で、横須賀から派遣されて最高司令部である軍令部（大本営海軍部）1000人を收容するための壕を村挙げての協力を得て小市真当の樫花凝灰岩の山裾に掘っていました。

また林部隊とは「捷36395部隊」、正式名称「独立工兵第94大隊」のことで、米軍上陸に備えて6月に編成され房総半島に展開していました。

ところが7月8日急遽参謀総長指揮下になり、安茂里に派遣され掘っていた5本の穴が（海軍の）通信施設としての地下壕だと思われるのです。更に通信に卓越した幹部を集めた海軍きつての極秘通信隊・蘭田部隊は連日松代に出かけて「海陸軍共同の中央通信施設を（象山）地下壕に整備中」だったと推定されます。

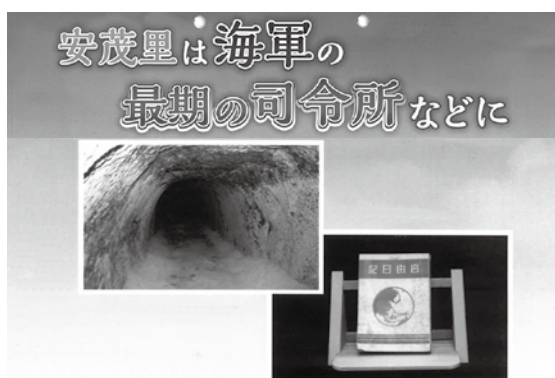
これらから、海軍も安茂里に最期の指令所などを構築、最終的には本土決戦を叫ぶ陸軍との両軍一体化を標榜しながら、長野（長野とは凡そ長野市と須坂・中野・更埴の範囲）の地で懸命に臨戦態勢を整えつつあったのだと言わざるを得ません。

最初に書きましたが、海軍が開戦に反対し出来るだけ早く戦争を終わらせようとしていた「通説」は、「海軍善玉論」「陸軍悪玉論」と対で「戦争の責任はすべて陸軍に押し付け海軍はその技術や人材を温存して戦後復興に活用しよう」との狙いから意識的に流布されたものと思われる。

したがって、その論に都合の悪い書類などは徹底的に焼却処分され、また軍人は黙秘を求められました。この間の調査でも例えば蘭田部隊の将校下士官は家族にも終戦時長野の小市に駐留していたと一切話していません。ですからこの日記等ではか史実は明らかにできないのです。「昭和の安茂里を語り継ぐ会」は壕の地権者も含め十数人ですが、若干軍事史に馴染んだ千曲市の私以外は、土に親しみ故郷をこよなく慈しんできた安茂里在住者で、「これを解き明かすと教科書が変わる」と誘われた「半信半疑」で始められた方々です。しかし今では取材に来た記者さんたちが「お年寄りたちみんな、目がキラキラ輝いている」と驚くほど一生懸命に取

り組んでいて事務局長の私も励まされます。そして、松ヶ丘や樫花の子供たちと海軍部隊などの調査や聞き取り、また保全や案内などを行っています。安茂里の皆様、是非大本営海軍部隊にお出かけください。そして、「歴史の空白」を埋めるこの営みを、どうか「ご一緒」しませんか。

（土屋 光男）



図書室より

新刊案内

書名	著者名	発行所
タラント	カクダ ミツヨ 角田 光代	中央公論新社
ウソ 嘘つきジェンガ	ツジムラ ミツキ 辻村 深月	文藝春秋
ちきゅうのかいだん	マツオカ 松岡 たつひで	金の星社
はじめてのやさしいおやつ&ごはん	ツジモト 辻本 なみ	KADOKAWA
リュウ 龍のはらわた	ヨシダ ヤスノリ 吉田 恭教	南雲堂
トウチショクドウ 当地食堂、はじめました	ヒダ カズオ 飛田 和緒	JALブランドコミュニケーション

書名	著者名	発行所
はけたよずばんぼん	minchi	PHP研究所
毎日食べたい整いカレー	サイトウ ナナコ マイニチタベ 齋藤 菜々子	文化学園文化出版局
名書奇変	ヒラギ 柊 サナカ ほか	飛鳥新社
戸張と御子柴	アオツバ 蒼月 海里	KADOKAWA
とおくのしんせきよりちかくのねこ	ヒロセ カツヤ 広瀬 克也	絵本館
はじめての	シマモト リョウ 島本 理生 ほか	文藝春秋
夜空に浮かぶ欠けた月たち	クボ ミスミ 窪 美澄	KADOKAWA

**豊かな生活
育てましよう**
安茂里公民館 226-4059

生活文化講座

◎企業を訪ねて②

日時 10月6日(金)
午前8時50分～
定員 20名
申込 9月14日(木)～

◎クラフトテープで作る
かごバッグ(全3回)

講師 「手仕事ひだまり」
のみなさん
日時 10月10日(火)
10月24日(火)
午後1時00分～
定員 10名
申込 9月19日(火)～

※材料費は別途
日時 10月10日(火)
10月24日(火)
午後1時00分～
定員 10名
申込 9月19日(火)～

◎ツボパワーで全身ケア

講師 村田 勇先生
大滝 弘子先生
日時 10月20日(金)
午後1時30分～
定員 15名
申込 9月29日(金)～

◎ブラ「アモリ」

講師 くふるさと再発見!!③
多田井 幸視先生
日時 11月10日(金)
午前9時～

◎楽しく歌おう愛唱歌②

講師 上村 まり子先生
服部 秀子先生
日時 11月17日(金)
午後1時30分～
定員 50名
申込 10月27日(金)～

安茂里地区にお住まいの方
その他地区にお住まいの方
日時 11月2日(木)～

◎ジャズに魅せられて

講師 ニュー・モダン
デュークス
日時 11月21日(火)
午後1時30分～
定員 30名
申込 10月31日(火)～

◎見つけよう!自分の味

講師 美味しいコーヒーの楽しみ方講座
水井 裕由先生
日時 11月29日(水)
午前10時～
定員 12名
申込 11月9日(木)～

※材料費は別途
※お申込みは、すべての講座
午前8時半からです。

安茂里地区成人祝賀式のご案内

日時 令和6年1月6日(土) 13時から15時(12時00分受付開始)

場所 安茂里公民館(安茂里総合市民センター)

対象者 平成15年4月2日から平成16年4月1日の間に生まれた方

- ・対象者のうち安茂里地区に住民登録されている方には、11月中旬に案内状を送付します。
- ・対象者のうち安茂里地区外に住民登録されている方については、下記の該当調査票に記入し安茂里公民館または各地区公民館長へ提出してください。それにより案内状を送付します。

◇問い合わせ先 長野市立安茂里公民館 電話026-226-4059(FAX兼用)

コピーまたは、切り取って安茂里公民館(FAXでも可)または各地区公民館長へ提出願います。

----- 切 り 取 り 線 -----

安茂里地区成人祝賀式該当者調査票

令和5年 月 日
提出期限10月20日(金)まで

公民館長様

成人者氏名	性別	生年月日	親(保護者等)氏名	案内状送付先	地区名
ふりがな	男・女	平成 年 月 日		〒 電話番号	

※本人が就学、就職などで住民票を安茂里地区外に異動している場合にはこの調査票を提出してください。
(この個人情報は、成人式以外には使用しません)